

2010年5月18日(火)

第一三共ヘルスケア株式会社

- 発売以来 初の刷新 -

坂口憲二さんを「ガスター10[®]」の新イメージキャラクターに起用

新TVCM 2010年5月22日(土)より全国放映開始

第一三共ヘルスケア株式会社(本社:東京都中央区、社長:高橋利夫)は、H₂ブロッカー胃腸薬「ガスター10[®]」の新しいイメージキャラクターとして俳優“坂口憲二さん”を起用し、新TVCMを、2010年5月22日(土)から全国で放映を開始します。



「ガスター10[®]」は、医療用医薬品からOTC医薬品にスイッチされたH₂ブロッカー薬“ファモチジン”を主成分とした胃腸薬として1997年に発売されました。

発売以来10年以上にわたり、胃痛・胸やけ・もたれ・むかつきに優れた効果がある胃腸薬として多くの方に親しまれてきましたが、さらに多くの方に身近な存在となることを目指し、“爽やかで力強い”印象で幅広い年代の男女から高い支持を得ている坂口憲二さんの起用を決定しました。今後、TVCMのほか、雑誌広告、交通広告や、全国の薬局・ドラッグストアの店頭ツールなどに坂口憲二さんが登場し、H₂ブロッカー胃腸薬のパイオニアブランド「ガスター10[®]」の特徴を伝えてまいります。

新TVCMストーリー

【朝の身支度篇】

最近、若い人にも胃痛・胸やけに悩む方が増えています。なかなか景気が上向かない中、がんばりすぎが主な原因。TVCMの舞台は、そんな若い人によくみるシーン、「昨日も食事もせず夜遅くまで残業。朝、がんばって起きての朝の身支度中・・・」。急に襲ってきた胃痛・胸やけに「ガスター10」を飲んだ坂口さん。最後は爽やかな笑顔で『ガスター10』と叫び締めくくります。

新TVCM 撮影エピソード

今回、「ガスター10」の新イメージキャラクターに決定した坂口憲二さん。初めての「ガスター10」のTVCM撮影は、まだ肌寒い3月下旬、都内でのロケ撮影でスタートとなりました。

現場に入った坂口さんは、“爽やかで力強い”という新キャラクターの起用理由そのままに、現場にいた女性スタッフから、思わず「カッコいい・・・」という声が出てしまうほどでした。そんな女性スタッフにはにかみながら笑顔で会釈を返し、“爽やか”でスマートな雰囲気を醸し出されていました。

休憩中は、撮影スタッフと楽しく会話をされていた坂口さん。最新のデジタル撮影機器を前に『僕が芸能界に入った10年くらい前は普通にフィルム撮影だったよなあ〜』と最新技術に興味津々でスタッフを質問攻めしていました。

CMやドラマの撮影、プライベートでサーフィンなど多忙で不規則な生活になりがちな坂口さんは、『セリフは完璧』と胃痛・胸やけの原因や「ガスター10」の効能・効果を確認しながら、『がんばりすぎで胃痛・胸やけてるんだよ。これからは気合いで治すだけじゃなく、ガスター10を飲まなきゃね。』とスタッフに一言。

いざ、スタンバイの声がかかると『お願いします！』と気持ちを引き締められ、監督と打ち合わせをする姿は真剣そのもの。チェック用のモニターに映る坂口さんの姿も、まさにドラマのワンシーンでした。

本番前スタジオ脇で、ひとりで何度もつぶやきながら練習し自信たっぷりで臨んだ、スーツジャケットを開いて決めゼリフ『ガスター10』と力強く叫ぶシーンでは、ネクタイが坂口さんの顔にひっかかるハプニングが。これには本人もスタッフも苦笑い。

坂口さんの真剣な姿勢を前に、現場は「ガスター10」のCMが変わる。という期待感に包まれました。

坂口さんにイメージキャラクターが代わり、新しいスタートをきった「ガスター10」にご期待ください。

〔「ガスター10[®]」製品特徴〕

胃の症状の原因となる胃酸の出過ぎをコントロールし、胃粘膜の修復を早めるファモチジン（H₂ブロッカー薬）を主成分とした胃腸薬で、胃酸中和型とは異なるタイプの胃腸薬です。

胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきに優れた効果を発揮します。

「ガスター10[®]」は1997年に発売以来、服用しやすい小粒の錠剤をはじめ、口の中でサーッと溶ける散剤、水なしでも服用できる口中溶解タイプ、日本で初めてH₂ブロッカー薬を配合した液体胃腸薬で、クイックボトル[®]を採用した1本飲みきりの液体タイプを取り揃え、胃の不快感でお悩みの多くの方々にご支持いただいています。



「ガスター10[®]」ブランドサイト : <http://www.gaster10.jp/>